

パッケージ区分	外科系基本領域		時間	95
研修概要	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連 (A) 中心静脈カテーテルの抜去	医師の指示の下、手順書により、身体所見（発熱の有無、食事摂取量等）及び検査結果等が医師から指示された病状の範囲内にあることを確認し、中心静脈内に挿入されているカテーテルを引き抜き、止血するとともに、全長が抜去されたことを確認する。抜去部は、縫合、結紮閉鎖又は閉塞性ドレッシング剤の貼付を行う。縫合糸で固定されている場合は抜糸を行う。		
	創傷管理関連 (A) 褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	医師の指示の下、手順書により身体所見（血流のない壊死組織の範囲、肉芽の形成状態、膿や滲出液の有無、褥瘡部周囲の皮膚の発赤の程度、感染徴候の有無等）検査結果及び使用中の薬剤等が医師から指示された病状の範囲内にあることを確認し、鎮痛が担保された状況において、血流のない遊離した壊死組織を滅菌ハサミ（剪刃）、滅菌撮子等で取り除き、創洗浄、注射針を用いた穿刺による排膿等を行う。出血があった場合は、圧迫止血や双極性凝固器による止血処置を行う。		
	創部ドレーン管理関連 (A) 創部ドレーンの抜去	医師の指示の下、手順書により、身体所見（排液の性状や量、挿入部の状態、発熱の有無等）及び検査結果等が医師から指示された病状の範囲内にあることを確認し、創部に挿入・留置されている状況又は患者の状態が長期にわたって管理され、安定している状況において、創部へ挿入・留置されているドレーンを抜去する。抜去部は、開放または閉塞性ドレッシング剤の貼付を行う。縫合糸で固定されている場合は抜糸を行う。		
	動脈血液ガス分析関連 (A) 直接動脈穿刺法による採血	医師の指示の下、手順書により、身体所見（呼吸状態、努力呼吸の有無等）及び検査結果（経皮的動脈血酸素飽和度（SpO2）等）等が医師から指示された病状の範囲内にあることを確認し、経皮的に橈骨動脈、上腕動脈、大腿動脈等を穿刺し、動脈血を採取した後、針を抜き圧迫止血を行う。		
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 (B) 脱水症状に対する輸液による補正	医師の指示の下、手順書により、身体所見（食事摂取量、皮膚の乾燥の程度、排尿回数、発熱の有無、口渇や倦怠感の程度等）及び検査結果（電解質等）等が医師から指示された病状の範囲内にあることを確認し、輸液による補正を行う。		
	感染に係る薬剤投与関連 (A) 感染徴候がある者に対する薬剤の臨時の投与	医師の指示の下、手順書により、身体所見（尿混濁の有無、発熱等）及び検査結果等が医師から指示された病状の範囲内にあることを確認し、感染徴候時の薬剤を投与する。		
	術後疼痛管理関連 (A) 硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	医師の指示の下、手順書により、身体所見（疼とう痛の程度、嘔気や呼吸困難感の有無、血圧等）、術後経過（安静度の拡大等）及び検査結果等が医師から指示された病状の範囲内にあることを確認し、硬膜外カテーテルからの鎮痛剤の投与及び投与量の調整を行う（患者自己調節鎮痛法（PCA）を除く）。		
到達目標	1. 医師の指示の下、手順書により、医療面接、身体所見及び検査結果等が医師から指示された病状の範囲内にあることを確認し、外科系基本領域の特定行為ができるようになる。 2. 手順書案を作成し、再評価、修正できる能力を養う。 3. 医師、歯科医師から手順書による指示を受け、実施の可否を判断するために必要な知識を養う。 4. 実施、報告の一連の流れが適切に行える。			
評価方法	講義：eラーニングの受講及び講義確認テスト 演習：ペーパーシミュレーションによる演習 OSCE：評価表（mini-CEX）を用いた観察評価 試験：eラーニング上もしくは集合で実施			
研修内訳	講義（89時間）	視聴時間45分＋講義確認テスト15分		
	演習（6時間）	視聴時間（イントロ）5分＋グループワーク45分＋視聴時間（解説）10分	※演習はeラーニング教材を活用して指定研修機関で行う	
	OSCE（2時間）	OSCEはシラバスの時間に含めておりませんが、教材としてご利用ください		
	試験（任意）	試験は指定研修機関ごとに時間・設問数など設定してご利用ください		

学ぶべき事項		講師	所属	研修方法	通番
栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連 (共通) 中心静脈カテーテル管理の基礎知識	中心静脈カテーテルに関する局所解剖 中心静脈カテーテルを要する主要疾患の病態生理、フィジカルアセスメント、目的（1）	千葉 義郎 青柳 智和	水戸済生会総合病院 循環器内科部長/総合内科部長 水戸済生会総合病院 看護師特定行為研修責任者/総合内科所属診療看護師	講義	9-1
	中心静脈カテーテルを要する主要疾患の病態生理、フィジカルアセスメント、目的（2）	千葉 義郎 青柳 智和	水戸済生会総合病院 循環器内科部長/総合内科部長 水戸済生会総合病院 看護師特定行為研修責任者/総合内科所属診療看護師	講義	9-2
	中心静脈カテーテルの適応と禁忌、伴うリスク（有害事象とその対策等）	千葉 義郎 青柳 智和	水戸済生会総合病院 循環器内科部長/総合内科部長 水戸済生会総合病院 看護師特定行為研修責任者/総合内科所属診療看護師	講義	9-3
栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	中心静脈カテーテルの抜去の適応と禁忌	千葉 義郎 青柳 智和	水戸済生会総合病院 循環器内科部長/総合内科部長 水戸済生会総合病院 看護師特定行為研修責任者/総合内科所属診療看護師	講義	9-4
	中心静脈カテーテルの抜去に伴うリスク（有害事象とその対策等）	千葉 義郎 青柳 智和	水戸済生会総合病院 循環器内科部長/総合内科部長 水戸済生会総合病院 看護師特定行為研修責任者/総合内科所属診療看護師	講義	9-5
(A) 中心静脈カテーテルの抜去	中心静脈カテーテルの抜去の方法と手技（1）	千葉 義郎 青柳 智和	水戸済生会総合病院 循環器内科部長/総合内科部長 水戸済生会総合病院 看護師特定行為研修責任者/総合内科所属診療看護師	講義	9-6
	中心静脈カテーテルの抜去の方法と手技（2）	千葉 義郎 青柳 智和	水戸済生会総合病院 循環器内科部長/総合内科部長 水戸済生会総合病院 看護師特定行為研修責任者/総合内科所属診療看護師	講義	9-7

創傷管理関連 (共通) 創傷管理 関連の基礎知識	皮膚、皮下組織(骨を含む)に関する局所解剖、主要な基礎疾患の管理、全身・局所のフィジカルアセスメント	切手 俊弘	彦根市立病院 在宅診療科	講義	11-1
	慢性創傷の種類と病態、褥瘡の種類、アセスメント・評価、治療のアセスメントとモニタリング(創傷治療過程、TIME理論等)	切手 俊弘	彦根市立病院 在宅診療科	講義	11-2
	リスクアセスメント、褥瘡及び創傷治療と体圧分散、褥瘡及び創傷治療と排泄管理	切手 俊弘	彦根市立病院 在宅診療科	講義	11-3
	褥瘡及び創傷治療と栄養管理	田村 佳奈美	福島学院大学 食物栄養学科講師	講義	11-4
	DESIGN-Rに基づいた治療指針	切手 俊弘	彦根市立病院 在宅診療科	講義	11-5
	褥瘡及び創傷の治療のアルゴリズム、褥瘡の治療のステージ別局所療法	切手 俊弘	彦根市立病院 在宅診療科	講義	11-6
	感染のアセスメント	切手 俊弘	彦根市立病院 在宅診療科	講義	11-7
	下肢創傷のアセスメントと病態別治療(1)	寺師 浩人	神戸大学医学部形成外科学教室 教授	講義	11-8
	下肢創傷のアセスメントと病態別治療(2)	寺師 浩人	神戸大学医学部形成外科学教室 教授	講義	11-9
	下肢創傷のアセスメントと病態別治療(3)	寺師 浩人	神戸大学医学部形成外科学教室 教授	講義	11-10
	下肢創傷のアセスメントと病態別治療(4)	寺師 浩人	神戸大学医学部形成外科学教室 教授	講義	11-11
	創部哆開創のアセスメントと治療	切手 俊弘	彦根市立病院 在宅診療科	講義	11-12
創傷管理関連 (A) 褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	褥瘡及び慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去の目的(1)	榊原 俊介	兵庫県立がんセンター 形成外科	講義	11-13
	褥瘡及び慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去の目的(2)	榊原 俊介	兵庫県立がんセンター 形成外科	講義	11-14
	褥瘡及び慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去の適応と禁忌(1)	木下 幹雄	TOWN訪問診療所 院長	講義	11-15
	褥瘡及び慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去の適応と禁忌(2)	木下 幹雄	TOWN訪問診療所 院長	講義	11-16
	褥瘡及び慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去に伴うリスク(有害事象とその対策等)(1)	寺部 雄太	東京西徳洲会病院 形成外科	講義	11-17
	褥瘡及び慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去に伴うリスク(有害事象とその対策等)(2)	寺部 雄太	東京西徳洲会病院 形成外科	講義	11-18
	DESIGN-Rに準拠した壊死組織の除去の判断	丹波 光子	杏林大学医学部付属病院 皮膚・排泄ケア認定看護師/特定行為修了看護師	講義	11-19
	全身状態の評価と除去の適性判断(タンパク量、感染リスク等)(1)	寺部 雄太	東京西徳洲会病院 形成外科	講義	11-20
	全身状態の評価と除去の適性判断(タンパク量、感染リスク等)(2)	寺部 雄太	東京西徳洲会病院 形成外科	講義	11-21
	壊死組織と健全組織の境界判断(1)	切手 俊弘	彦根市立病院 在宅診療科	講義	11-22
	壊死組織と健全組織の境界判断(2)	切手 俊弘	彦根市立病院 在宅診療科	講義	11-23
	褥瘡及び慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去の方法	木下 幹雄	TOWN訪問診療所 院長	講義	11-24
	褥瘡及び慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去に伴う出血の止血方法(1)	榊原 俊介	兵庫県立がんセンター 形成外科	講義	11-25
	褥瘡及び慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去に伴う出血の止血方法(2)	榊原 俊介	兵庫県立がんセンター 形成外科	講義	11-26
創部ドレーン管理 関連 (共通) 創部ドレーン管理関連の 基礎知識	創部ドレーンに関する局所解剖、適応と禁忌、伴うリスク(有害事象とその対策等)	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	講義	12-1
	創部ドレーンを要する主要疾患の病態生理、フィジカルアセスメント、目的	川口 晃	長浜赤十字病院 救急部	講義	12-2

(A) 創部ドレーンの抜去	創部ドレーン管理 関連	創部ドレーンの抜去の適応と禁忌	須原 貴志	下呂市立金山病院院長 外科	講義	12-3
		創部ドレーンの抜去に伴うリスク（有害事象とその対策等）	豊田 泉	岐阜県総合医療センター救命救急センター	講義	12-4
		創部ドレーンの抜去の方法と手技	須原 貴志	下呂市立金山病院院長 外科	講義	12-5
(共通) 動脈血液ガス分析関連の基礎知識	動脈血液ガス分析 関連	動脈穿刺法に関する局所解剖、フィジカルアセスメント	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	講義	13-1
		超音波検査による動脈と静脈の見分け方	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	講義	13-2
		動脈血採取が必要となる検査	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	講義	13-3
		動脈血液ガス分析が必要となる主要疾患とその病態（1）	川原 加苗	福岡徳洲会病院 救急総合診療部	講義	13-4
		動脈血液ガス分析が必要となる主要疾患とその病態（2）	川原 加苗	福岡徳洲会病院 救急総合診療部	講義	13-5
(A) 直接動脈穿刺法による採血	動脈血液ガス分析 関連	直接動脈穿刺法による採血の目的、適応と禁忌	鈴木 慧太郎	岸和田徳洲会病院 救命救急センター	講義	13-6
		穿刺部位と穿刺に伴うリスク（有害事象とその対策等）	鈴木 慧太郎	岸和田徳洲会病院 救命救急センター	講義	13-7
		患者に適した穿刺部位の選択	鈴木 慧太郎	岸和田徳洲会病院 救命救急センター	講義	13-8
		直接動脈穿刺法による採血の手技	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	講義	13-9
(共通) 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連の基礎知識	栄養及び水分管理 に係る薬剤投与関連	循環動態に関する局所解剖	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	15-1
		循環動態に関する主要症候	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	15-2
		脱水や低栄養状態に関する主要症候	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	15-3
		輸液療法の目的と種類、病態に応じた輸液療法の適応と禁忌	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	15-4
		輸液時に必要な検査	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	15-5
		輸液療法の計画	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	15-6
(B) 脱水症状に対する輸液による補正	栄養及び水分管理 に係る薬剤投与関連	脱水症状に関する局所解剖、脱水症状の原因と病態生理	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	15-12
		脱水症状に関するフィジカルアセスメント、検査	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	15-13
		脱水症状に対する輸液による補正に必要な輸液の種類と臨床薬理	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	15-14
		脱水症状に対する輸液による補正の適応と使用方法、副作用、脱水症状の程度の判断と輸液による補正のリスク（有害事象とその対策等）	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	15-15
		<選択式> 脱水症状に対する輸液による補正の判断基準（ペーパーシミュレーションを含む）	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	演習	15-16A
		<選択式> 脱水症状に対する輸液による補正の判断基準（ペーパーシミュレーションを含む）	青木 一憲	兵庫県立こども病院 小児集中治療科		15-16B

感染に係る薬剤投与関連 (共通) 感染に係る薬剤投与関連の基礎知識	感染症の病態生理 (1)	加藤 英明	横浜市立大学附属病院感染制御部	講義	16-1
	感染症の病態生理 (2)	加藤 英明	横浜市立大学附属病院感染制御部	講義	16-2
	感染症の病態生理 (3)	三村 一行	東邦大学医学部微生物・感染症学講座	講義	16-3
	感染症の病態生理 (4)	小野 大輔	東邦大学医学部微生物・感染症学講座	講義	16-4
	感染症の主要症候と主要疾患 (1)	渋江 寧	横浜市立みなと赤十字病院感染症科	講義	16-5
	感染症の主要症候と主要疾患 (2)	渋江 寧	横浜市立みなと赤十字病院感染症科	講義	16-6
	感染症の主要症候と主要疾患 (3)	渋江 寧	横浜市立みなと赤十字病院感染症科	講義	16-7
	感染症の主要症候と主要疾患 (4)	根本 隆章	川崎幸病院感染制御科	講義	16-8
	感染症の主要症候と主要疾患 (5)	根本 隆章	川崎幸病院感染制御科	講義	16-9
	感染症の診断方法 (1)	西田 裕介	埼玉医科大学総合医療センター総合診療内科	講義	16-10
	感染症の診断方法 (2)	西田 裕介	埼玉医科大学総合医療センター総合診療内科	講義	16-11
	主要感染症の診断方法 (1)	岡 秀昭	埼玉医科大学総合医療センター総合診療内科	講義	16-12
	主要感染症の診断方法 (2)	岡 秀昭	埼玉医科大学総合医療センター総合診療内科	講義	16-13
	主要感染症の診断方法 (3)	岡 秀昭	埼玉医科大学総合医療センター総合診療内科	講義	16-14
	主要疾患のフィジカルアセスメント	林 良典	順天堂大学医学部 総合診療科 / NTT東日本関東病院予防医学センター	講義	16-15
感染に係る薬剤投与関連 (A) 感染徴候がある者に対する薬剤の臨時的投与	抗生剤の種類と臨床薬理 (1)	吉田 明弘	福井厚生病院薬剤部	講義	16-16
	抗生剤の種類と臨床薬理 (2)	吉田 明弘	福井厚生病院薬剤部	講義	16-17
	各種抗生剤の適応と使用方法 (1)	金井 威	群馬県立公立富岡総合病院薬剤部	講義	16-18
	各種抗生剤の適応と使用方法 (2)	金井 威	群馬県立公立富岡総合病院薬剤部	講義	16-19
	各種抗生剤の副作用 (1)	永井 徹	横浜市立脳卒中・神経脊椎センター薬剤部	講義	16-20
	各種抗生剤の副作用 (2)	永井 徹	横浜市立脳卒中・神経脊椎センター薬剤部	講義	16-21
	感染徴候がある者に対し使用するその他の薬剤の種類と臨床薬理	原 弘士	横浜市立脳卒中・神経脊椎センター薬剤部	講義	16-22
	感染徴候がある者に対し使用するその他の各種薬剤の適応と使用方法	原 弘士	横浜市立脳卒中・神経脊椎センター薬剤部	講義	16-23
	感染徴候がある者に対し使用するその他の各種薬剤の副作用	永井 徹	横浜市立脳卒中・神経脊椎センター薬剤部	講義	16-24
	感染徴候がある者に対する薬剤投与のリスク (有害事象とその対策等)	原 弘士	横浜市立脳卒中・神経脊椎センター薬剤部	講義	16-25
	病態に応じた感染徴候がある者に対する薬剤投与の判断基準 (ペーパーシミュレーションを含む) : 肺炎	岡 秀昭	埼玉医科大学総合医療センター総合診療内科	演習	16-26
	病態に応じた感染徴候がある者に対する薬剤投与の判断基準 (ペーパーシミュレーションを含む) : 尿路感染症	岡 秀昭	埼玉医科大学総合医療センター総合診療内科	演習	16-27
	病態に応じた感染徴候がある者に対する薬剤投与の判断基準 (ペーパーシミュレーションを含む) : CDI	原 弘士	横浜市立脳卒中・神経脊椎センター薬剤部	演習	16-28
	病態に応じた感染徴候がある者に対する薬剤投与の判断基準 (ペーパーシミュレーションを含む) : MRSA	原 弘士	横浜市立脳卒中・神経脊椎センター薬剤部	演習	16-29

術後疼痛管理関連 (共通) 術後疼痛管理関連の基礎知識	硬膜外麻酔の目的、適応と禁忌、局所解剖、主要疾患の病態生理	谷口 英喜	済生会横浜市東部病院 周術期支援センター長/日本麻酔科学会指導医	講義	18-1
	硬膜外麻酔に伴うリスク(有害事象とその対策等)(1)	谷口 英喜	済生会横浜市東部病院 周術期支援センター長/日本麻酔科学会指導医	講義	18-2
	硬膜外麻酔に伴うリスク(有害事象とその対策等)(2)	谷口 英喜	済生会横浜市東部病院 周術期支援センター長/日本麻酔科学会指導医	講義	18-3
	硬膜外麻酔を要する主要疾患のフィジカルアセスメント	谷口 英喜	済生会横浜市東部病院 周術期支援センター長/日本麻酔科学会指導医	講義	18-4
術後疼痛管理関連 (A) 硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	硬膜外麻酔薬の選択と投与量(1)	谷口 英喜	済生会横浜市東部病院 周術期支援センター長/日本麻酔科学会指導医	講義	18-5
	硬膜外麻酔薬の選択と投与量(2)	谷口 英喜	済生会横浜市東部病院 周術期支援センター長/日本麻酔科学会指導医	講義	18-6
	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整の方法	谷口 英喜	済生会横浜市東部病院 周術期支援センター長/日本麻酔科学会指導医	講義	18-7
	ペーパーシミュレーション(硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整)	谷口 英喜	済生会横浜市東部病院 周術期支援センター長/日本麻酔科学会指導医	演習	18-8
創傷管理(A)	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	切手 俊弘	彦根市立病院 在宅診療科	OSCE	-
血ガス分析(A)	直接動脈穿刺法による採血の手技	鈴木 慧太郎	岸和田徳洲会病院 救命救急センター	OSCE	-
外科系基本領域 修了試験				試験	-